

# 霧島

広報きりしま

12

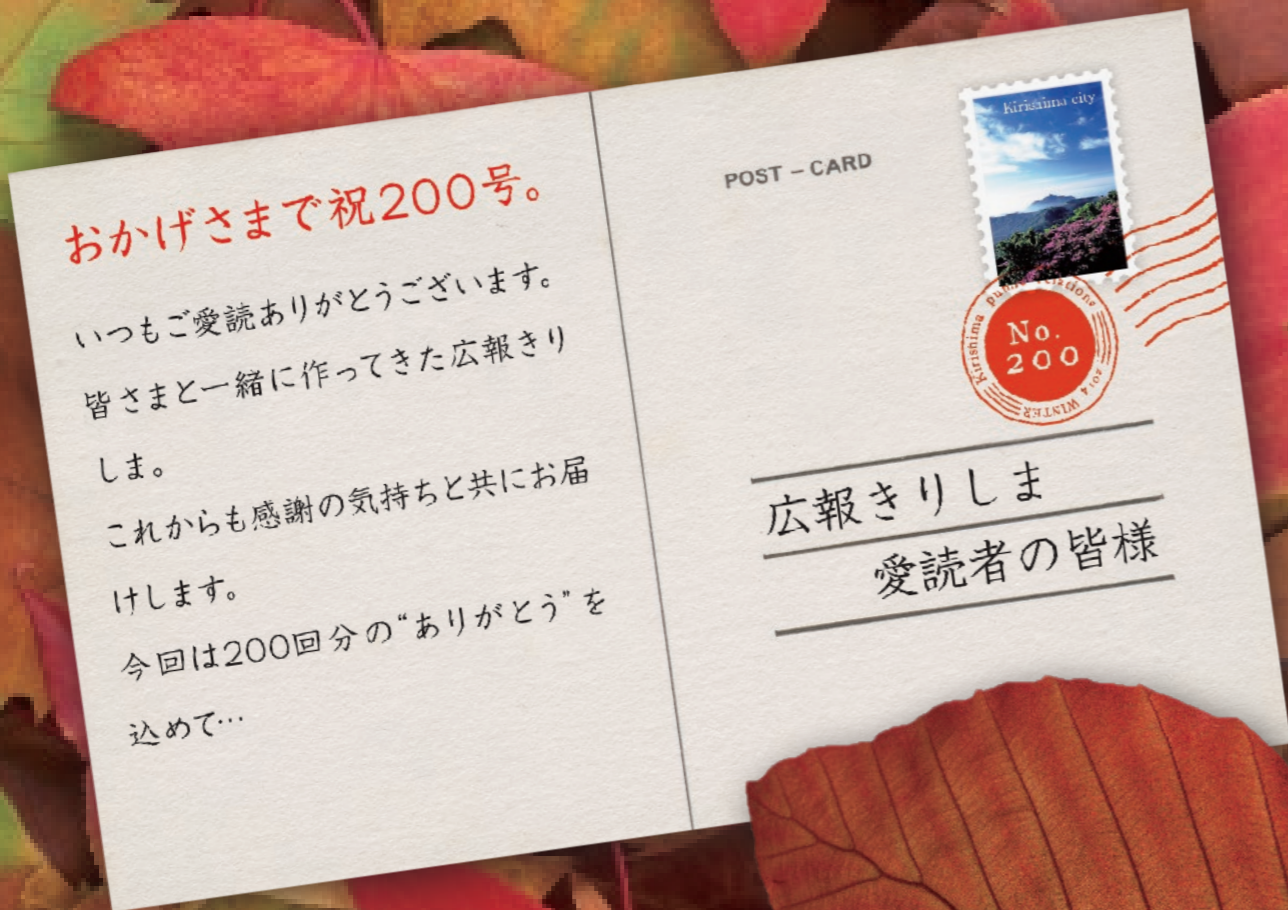
December.2014  
VOL.200

Kirishima City Public Relations, Japan  
2014.12.9 発行 VOL.200

霧島 広報きりしま



発行/〒899-4384 鹿児島県霧島市南中央三丁目45-1 Ⅱ/0995-45-5111(Ⅱ)  
ホームページ/URL http://www.city.kirishima.jp ■メール/トリス/ ■メール/トリス/ ■印刷/南中央新生社印刷  
編集/秘書広報課 Ⅱ/0995-64-0955 Ⅲ/0995-64-0934



抽選で  
豪華賞品  
プレゼント

kuko driving school

広告



### 普通自動車

オートマなら **総額 283,400円**  
ミッションなら **総額 299,600円**

料 金 内 訳	<b>入学金</b> (写真・適性検査)	<b>教習料</b> (技能・学科)	<b>検定料</b> (仮免許申請手数料 仮免許交付手数料 修了検定料・卒業検定料)
------------------	-------------------------	-----------------------	---

※上記は最短時間の料金です。技能教習が延長された場合と、検定不合格時に補習を受講する場合は1時間あたり5,000円が加算されます。  
※修了検定不合格時には再検定料として3,200円/回、卒業検定不合格時には再検定料として4,300円/回が加算されます。  
※仮免許学科試験に不合格の場合、再試験料1,700円/回が加算されます。※高速道路教習は実車走行で行います。  
※夜間(17:30~)割増料金は900円/時限です。学生(高校生・大学生)は無料です。  
※入学後、途中で退学される場合は、未実施の技能教習料と学科教習料を払い戻しいたします。

2015年3月までに  
普通免許取得で入校した高校生は  
総額から **5,000円引き!**

更に! 2014年12月中に入校された高校生には  
QUOカード **2,000円分を贈呈!**

¥ 提携信販会社のローンが利用できます。  
※事前に審査があります。詳細についてはお問い合わせ下さい。

送迎バス無料利用可能 (高校⇄自動車学校⇄自宅)  
※道路の状況等で、自宅近くでの乗車になる場合があります。

お問い合わせ・お申し込みは 鹿児島県公安委員会指定[技能試験免除]

## 空港自動車学校 TEL 0995-42-8583

鹿児島県霧島市隼人町内2352-1 空港自動車学校 検索





あなたの一步が次の ステージにつながる

# 広報きりしまは 必要か?

おかげさまで、広報きりしまは200号を迎えることができました。しかし情報化社会の時代に、その必要性について疑問視する声もあります。実際に市民の方から

「まちからの情報はインターネット

配信だけでいいのでは」という意見もありました。

本当に広報誌は必要なのか…。

さらには、若者の活字離れや

デジタルへの意識の高い人が増えているといった現状もあります。

200号を迎えた今回、これまでを振り返りながら、広報誌の必要性について考えてみます。

## ネット社会の時代に紙媒体は必要か

インターネットが普及し、個人が簡単に情報を発信できるようになり、テレビよりもローカルでグローバルな情報が簡単に入手できるようになりました。そんな時代に、そもそも紙媒体は必要なのでしょうか。地域の文化や生活にスポットを当て、その魅力を紹介して

いる雑誌「九州のムラ」の編集長・養父信夫さんに話を聞きました。

「情報があふれる現代、受ける側が情報を見極めるようになり、ネットなどでは必要な情報しか見てもらえませんが、一過性の情報ならそれでもいいのですが、本人は必要とは思わなくても、関心を持つてもらわないといけないものもあります。高齢化が進む中、一部の人が利用するフェ

地域の魅力に物語性という付加価値を付け、さらなる魅力として発信している養父さん。広報誌も同じといえます。「広報誌は子どもから年配の方までと読者層の幅が広いので、発信する情報も幅広くあります。そうすると、読者から見れば欲しい情報が少な

くなり関心が低くなってしまいます。そこで大切なのが掘り下げることで、地域に入り込み、その魅力を深く掘り下げることで新たなものが見えてきます。お知らせ記事だけではなく、読者の気付きにつながるような記事を掲載していくことが必要です」

養父さんは「語り口や声のトーンなど、これまで紙媒体では表現できなかったことを動画などとコラボすることで表現の幅を広げている雑誌が増えています。動画やネットなどを活用することで紙媒体の魅力はさらに広がります」とその可能性に期待を寄せます。

イスブックなどのSNSよりも、幅広い世代が見ることができ、さらには保存性もあり深く考えることにつながる紙媒体は、まだまだ必要だと思います」

## その雑誌ならではの独自性を生かして

現在は活字離れや雑誌離れなど、紙媒体を読んでもらうことが難しい時代です。そこで養父さんは「オンリーワン」にこだわります。

「デジタルカメラの性能が上がり、以前はプロにしか表現できなかったことが、素人でもできるようになりました。おしゃれな雑誌が増え、デザイン性を求める人も多くなります。今の時代、おいしいうや、景観の美しさ、だけでは興味を持ってもらえません。デジタルの質を高めることはもちろんですが、私は人の生活や文化などが見えてくる物語性を表現するようにしています。それこそが、その雑誌にしか載っていないオンリーワンの情報となり、関心につながるからです」

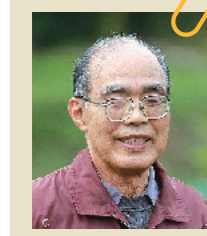


九州の観光・地域づくりマガジン九州のムラ  
http://www.kyushunomura.net/



## PROFILE

**養父 信夫さん(52)**  
昭和61年(株)リクルート入社。平成10年に独立し都市と農村をつなぐグリーンツーリズムを広げる活動を開始。同年、雑誌「九州のムラ」発行に携わる。平成12年から同誌編集長。平成17年からは(株)マインドシェアに統合し、全国のムラ事業展開に向けて準備中。グリーンツーリズム大賞2007特別賞受賞、熊本大学社会文化科学研究科博士課程在学中。九州のムラたび応援団団長(九州グリーン・ツーリズム研究会会長)  
総務省地域創造力アドバイザー(平成20年には霧島市に派遣)、九州6次産業化推進会議専門委員、トヨタ自動車「Gazoo mura」プロジェクト企画者、九州のムラ市場(マリノアシティ内)企画者、九州ムラコレ市場(キューデンインフォコム)企画者ほか

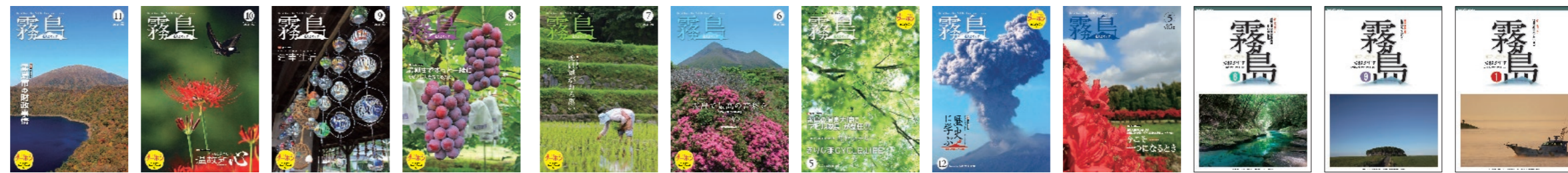


## INTERVIEW

私のような年代には、紙媒体は必要です。インターネットも使いますが、頻度はそんなに多くないし、文章はざらっと読むぐらい。手にとってじっくり読める紙媒体の方が私には合います。広報誌は、ある程度の情報がまとまって載っていて、写真もきれいで、毎号楽しみです。

国分広瀬在住 安達 栄さん(71)

## 表紙アーカイブ





ちょうかん  
**鳥瞰する視点で  
 地域の広報担当を増やす**

総合政策部  
 総合政策課  
**林 慎治さん (37)**



平成18年全国広報コンクール市部で「特選」を受賞した作品

まだまだ重要な役割を果たす紙媒体。しかし、一般的に行政の広報誌は「堅くて面白くない」というイメージがあり、読まない方も。そこで、全国広報コンクールで特選を受賞するなど、注目を集める2つのまちの広報担当者にも、どのような広報誌を作る必要があるのかインタビューしました。

どのような広報誌が求められているのか  
**注目を集める2人の  
 広報担当者に聞く**

「広報誌らしくない広報誌。市民にはかっこいい広報誌を読んでもらいたい」をモットーに編集を行っています。まずは手にしてもらおうこと、そのための工夫は欠かせません。「宮若生活」というタイトルもそんな思いをカタチにした1つのスパイスでもあります。

広報みやわか「宮若生活」では、毎月1つのテーマを取り上げ、掘り下げていきます。切り口は一見行政とは無縁に見えることもあります。最後は行政課題への提言や総合計画に基づいた事業の周知につなげます。行政広報の範囲はしっかりと認識し、切り口や取材対象はポーターレスに取り組んでいます。

**福岡県宮若市**

2006年  
 市部  
**特選**

宗像市の南、北九州市と福岡市の間に位置し、北九州都市圏と福岡都市圏に両属。歴史的に古代から、宗像市との結びつきが強い都市です。人口29,321人(男性13,854人、女性15,467人)世帯13,004世帯(平成26年10月末日現在)

全国広報コンクール受賞歴

平成26年広報紙市部入選、平成25年広報紙市部1席、平成24年広報紙市部入選、平成18年広報紙市部特選(総務大臣表彰)ほか

65歳以上の人口が30%を超える宮若市では、都市に比べまだ広報誌を読んでもらえません。私は紙媒体の広報の存在意義を高め、「市政を鳥瞰する視点をもつ市民を1人でも増やし、地域の広報担当を増やしていくこと」を目的に、これからは真つ白な紙面を前に、立ち向かっていきたいと思っています。

「はっ」と気づき、「ほー」と知り、「よしっ」と行動してもらおうこと。企画記事を通して、ありきたりの言葉ではなく、体験した人だからこそ語ることができる言葉をそのまま伝えることで、「人権を大切に」、「飲酒運転はいけないこと」に、気付いていただくことを大切にしています。秒単位で更新していくネッ

ト情報、毎日発行する新聞。スピードという視点では広報誌はとてまかないません。広報きりしまは2回発行されていますが、その中でできることは何か。私は発想を転換させ、あえて時間をかけ、事実を埋もれたストーリーを探っていくことにしました。野球大会一回戦負けというチームの事実裏には、保護者のサポートやチーム内の葛藤。その試合をどのような思いで迎えたかなど、すぐには見えませんが、そのチームにしかないたった一つの物語があるはず。それは新聞やテレビでは取り上げられない、広報誌だからこそ発信できるものではないでしょうか。

はっ か い ち し  
**広島県廿日市市**

2014年  
 市部  
**特選**

広島市の西に隣接した「けん玉発祥の地」。世界遺産・宮島をはじめ、歴史・文化・豊かな自然などさまざまな資源があふれるまちです。人口117,264人(男性56,241人、女性61,023人)世帯49,758世帯(平成26年11月1日現在)

全国広報コンクール受賞歴  
 平成26年広報紙市部特選(総務大臣表彰)、平成26年組み写真入選、平成25年組み写真入選、平成23年広報紙市部入選

広報誌の作成は、役所のほかの部署と違って法律などの決まりごとのない世界。どのように作るかが、正解がありません。だからこそ、市民に必要とされる紙面とはどのようなものかを手探りで探す必要があります。

私も、「読んでもらう」ための工夫には毎月胃が痛くなるほど悩んでいます。心掛けていくのは「市民と正面から向き合う」と「まちの誇りを紙面に出す」ことです。その中で「特集」と「写真」には特に力を入れていきます。特集では、タイムリーなテーマを深く掘り下げることや、知ってもらいたいことや

**広報誌に命を吹き込むことで  
 地域を輝かせるチカラになる**



分権政策部  
 広報統計課広報担当  
**川辺 邦彦さん (44)**

考えてもらいたいことがより伝わりやすくなると考えています。

特集の中では、多くの市民を取材して掲載させていただいています。そうすることで、紙面が市役所からの一方通行でなくなるかと考え、市民と協働で紙面を作り上げるようにしています。

写真も大事な要素の一つ。一枚の効果的な写真は、千文字の言葉よりも伝わる場合があります。写真は「その時」を切り取るものであり、事実だからこそその説得力があります。そして広報誌は永年保存。まちの「今」を切り取って、地域の営みの姿を後世に残す

役割もあると思っています。何より私は、紙の持つチカラを信じています。

現在、インターネット、携帯電話、タブレット端末の普及により、いつでもどこでも簡単に情報が取り出せる時代になりました。

しかし、全国の市町村では、形は違えど、紙媒体の広報誌が発行され続けています。

広報誌は何もしなければ、ただの紙。しかし、そこに命を吹き込むことで、血の通った紙面になり、ぬくもりのある冊子になり、地域を輝かせるチカラを持ちます。

それが、広報担当者に課せられた使命だと思っています。



平成26年全国広報コンクール市部で「特選」を受賞した作品

検証  
**01**

# 広報誌の効果

## 特集を組む意味

戦後65年を迎えた平成22年8月号に掲載した特集「平和への道しるべ」。このまちにあった2つの特攻基地にスポットを当て、戦争体験者や戦争遺跡の保存活動をしている方の話を紹介しました。



広報きりしまでも毎月特集を組んでいます。廿日市市や宮若市と同じように、テーマを「掘り下げる」ことを心掛けており、それによって市民の皆さんの気付きにつながることを目指しています。

これまで、たくさんの方のテーマを集めてきました。そこで生まれた気付きが、新たな可能性へと展開しています。

### 特攻隊の記憶が このまちにもあった

皆さんは、霧島市に2つの特攻基地があったことをご存知ですか。国分と溝辺町にあり、427人の若者が永遠に

帰れない片道飛行と知りながら飛び立っていきました。

しかし、そのことを知らない方が多くいました。そこで戦後65年を迎えた平成22年の8月号で特集の特集を組みました。タイトルは「平和への道しるべ」。

生き残った特攻隊員や遺族の方の思いなど、戦争体験者の生の声を基に、このまちにあった特攻の真実を振り返りました。

### 地元での平和学習が 地域の人の心を動かす

特集には多くの反響がありました。中でも、溝辺町の陵南中学校では、地元での平和学習が始まりました。

それまで1時間半かけて知覧特攻平和会館まで行っていた同中。しかし広報誌で地元の特攻基地があったことを当時の担任教諭が知り、地元で学習をするようになりました。

平和学習の担当をしていた内村加代子教諭は「私も溝辺に特攻基地があったことを知りませんでした。生徒に聞いてもほとんど知らない状況。



陵南中学校 内村加代子教諭 (45)

地元の学校として特攻の記憶を残さないといけないと思いましたが、あまり資料などがなく、この特集は参考になりました。今でも平和学習のときに活用しています」と話します。

平和学習を受けるのは2年生。戦争体験者に話を聞いたり、戦争遺跡を見に行ったりします。学んだことは、文化

祭で劇にして発表。先月行われた文化祭では、生徒や保護者の見守る中、若き特攻隊員になりきった生徒の迫真の演技に、涙ぐむ人もいました。

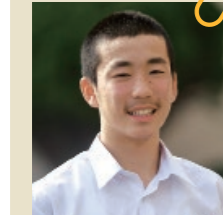
戦争体験者として生徒に平和の大切さを訴える溝辺町竹子の延時力蔵さん(87)は、この学習の大切さを訴えます。「私は昭和19年、17歳のとき整備士として鹿屋の特攻基地に行きました。ほとんどの戦闘機が戦いを繰り返してきて穴だらけ。それを修理し、片道分の燃料を積んで、隊員たちは飛び立っていきました。機体には途中で落下させない

ようにワイヤーでぐるぐる巻きにされた爆弾をつけて。戦争の悲惨さや怖さは体験した人がよく知っています。中学生が話を聞きたいと言ってくれた時はうれしかった。伝えていく重要性を感じました」

一つの特集がきっかけで始まった地元での平和学習は、地域の人の心にも刺激を与えています。



延時力蔵さん(87) 溝辺町竹子在住



陵南中学校2年 末原 翔磨君(14)

**INTERVIEW**

特攻隊のこと、特攻基地があったことを、平和学習で初めて知りました。戦争体験者の方の話には、教科書では教わらない事実があり、戦争の怖さを痛感しました。文化祭の劇で、私は特攻隊員の役を演じました。自分とあまり変わらない年の人たちが、爆弾を積んで飛び立って行った現実言葉に言葉を失います。平和の大切さを強く感じました。

このまちから427人の若く、尊い命が、永遠に帰れない片道飛行と知りながら飛び立っていった。

戦後65年が経ち戦争を知らない世代が増え、薄れていく戦争の記憶。しかし、このまちには今でも多くの戦争の記憶が残っています。そして「神風特別攻撃隊」もその中の一つ。427人の若者が命をかけて私たちに残してくれたものとは……

# 平和への道しるべ

戦後65年を迎え、あなたは何を思う

2つの特攻基地  
 国分基地  
 第二国分基地

## 掘り下げることで 見えてくるものがある

Verification



### 小魚の佃煮

**【材料】**  
 食べるいりこ100g、レーズン50g、バターピーナッツ50g(粗く砕く)、かつお節2~3パック、すりゴマ適量、調味料(酒100cc、砂糖30g、薄口しょうゆ20cc、酢30cc、みりん30cc)

**【作り方】**  
 ① フライパンに酒を入れ中火でアルコールを飛ばし、残りの調味料を入れる。  
 ② 砂糖が溶けたらいりこを入れ、よく混ぜてからふたをし、弱火で5分くらい煮詰める。  
 ③ レーズンとピーナッツを入れてよく混ぜ、火を止めふたをしたまま30分くらいおく(いりこが食べやすい硬さになる)  
 ④ 最後にかつお節とすりゴマを入れてよく混ぜる。お好みで七味を入れてもよい。

### 酢ごぼう

**【材料】**  
 ゴボウ500g、白ゴマ少々、調味料(ざらめ1カップ、薄口しょうゆ1/2カップ、酢1/4カップ、酒1/4カップ、みりん1/4カップ)

**【作り方】**  
 ① ゴボウを5cmくらいの長さに切り、上の太い部分は4等分、中位の部分は2等分に切る(細く切った方が早く煮えて味付けもしやすい)  
 ② ①を圧力鍋に入れ、みりん以外の調味料を入れて中火で圧がかかってから5分間煮る。  
 ③ 火を止めて圧が下がってからふたを開けて味を見る。  
 ④ 中身を上下にゆすり、みりんを入れて弱火で圧をかけ、圧がかかってから10分間煮る。  
 ⑤ 火を止めて30分くらい置く。  
 ⑥ 皿に盛って白ゴマをふる。



ぜひ、お試しください

磯野勝子さん(74)  
 隼人町姫城在住

ここにある思い出にスポットを当てて料理を紹介する「思い出の味」を連載。今ではふるさとや家族の絆をつなぐ人気コーナーとなっています。今年6月号で紹介したのは霧島の鈴木ミチ子さん(82)が作る「油みそ」。妊娠中に夫が寝たきりに。看病と育児をしながら働かないといけない苦しい生活。支えになったのが母・ケサグイさんとの思い出でした。

「母も父の看病と子育てをしながら、一日中働いていま

した。仕事に行くとき、お弁当に入れていたのが油みそ。質素な料理を食べながらも自分たちのために必死に働く母の姿を思い出し、私も頑張れました。今でも油みそを作るときは涙が出てきます」

と、そのおいしさと一緒に鈴木さんのお母さんへの思いが心にジーンと伝わってきました。人を思う気持ちの大切さを改めて感じ、感謝の気持ちをはがきに書きました

最近、磯野さんの冷蔵庫にもう一品、常備されている料理が増えました。それは「油みそ」。鈴木さんの思い出の味が磯野さんに、そしてそこからさらに広がっています。食は、その人だけでなく周りの人も幸せにしてくれます。「思い出の味」をこれからもお届けします。



### 自然と涙があふれる「油みそ」

味のゲートウェイに社を流す鈴木ミチ子さん(82)。離別の際には、得た「思い出の味」を再現しようと、料理が得意になつたのは母ケサグイさんのおかげ。病気の父・金太郎さんを支え、家族のため必死に努力した母と、自分も必死に頑張る姿を見て涙が止まらなくなりました。自然と涙があふれる「油みそ」は、母の思い出の味です。



鈴木ミチ子さん(82)

# 食の本当の豊かさを 知ってほしい

## Verification

「あなたにとって思い出の味はなんですか」と聞かれて、皆さんはすぐに思いつくでしょうか。あの料理を食べたら母のぬくもりを、ふるさとの景色を、家族の笑顔を思い出す。ただ食べるだけでなく、その料理と思い出が腹ただけでなく心まで満たしてくれる。それが食の持つ本当の豊かさではないでしょうか。しかし、食への関心が薄れつつあるといわれる現代、「思い出の味」を持たない人が増えていきます。そこで広報きりしまでは、2年前から食だけでなく、そ

検証 02  
**広報誌の効果**  
 シリーズ **思い出の味**



検証  
**03**

# 広報誌の効果

シリーズ **人の風景**

■ 人の風景アーカイブ



平成18年から続いている人気コーナー「人の風景」。頑張っている人の思いだけでなく、その人の生き様や人となりまで描いています。これまで94人の方を紹介してきました。

皆さんは昨年9月号で紹介した当時74歳の短距離ランナーを覚えていますか。

鋭く地面を蹴り、風のように駆け抜ける。74年の歳月を感じさせない力強い走りに驚かれた方も多いのではないのでしょうか。

ランナーの名前は隼人町の下新原明人さん(75)。65歳

から本格的に短距離をスタート。練習方法などは独学で、練習機材は全て自作。平成23年には全国大会70歳以上の部60歳で2位に入り、全国で初の表彰台に立ちました。

## 75歳、さらに前へ

掲載されたことで、下新原さんに変化がありました。

「広報誌の影響は大きくて、たくさんの方から連絡がありました。驚いたのは大会で会った市外の方からも、載ってたね」と声を掛けられたこと。最初は、あんなに大きく載って恥ずかしいと思いましたが、あの記事のおかげで、もっと頑張らなといけないという意欲が湧いてきました」

注目を浴び、さらにやる気が増した下新原さん。筋トレメニューを倍に増やし、筋力アップに励みました。

その成果もあり、今年9月に行われた全国大会75歳以上の部で100、200メートルに初の優勝。同月初めて臨んだアジア大会では100メートル(14秒29)、200メートルで銀(31秒06)を獲得しました。



# 人の歩んできたドラマが人を熱くする

Verification

アジア最速の75歳になった下新原さんは「目標は100歳まで走り続けて、見ている人に元気を与えられるようなランナーになること」と力強く話していました。

## 影響はほかにも

あの記事に影響を受けたのは、下新原さんだけではありません。発行後、「練習方法を知りたい」「私も陸上をしてみたい」という問い合わせが多く寄せられました。

横川町の二元正広さん(65)もその一人。約30年長距離走を続け、24回のフルマラソン

出場経験がありますが、広報誌で見た下新原さんの姿は衝撃的だったといいます。

「広報誌を開けた瞬間に目に飛び込んできた下新原さんの力強い走り。あの衝撃は今も忘れることができません。私よりも10歳上の人にどうしてあんな走りができるのか知りたくて、一度練習を見に行



ひともと 正広さん(65)  
 横川町上ノ在住

きました。練習方法や筋トレの仕方なども教わりましたが、中でも常に走ることを意識し、目標を高く持つ下新原さんの走りへの意欲が一番印象的でした。私も頑張ろうという気持ちになりました」

必死に頑張っている人の姿は、見る人の心を熱くします。「よし私も頑張ろう」そんな一歩を踏み出すきっかけになってほしいという思いで、このコーナーは始まりました。あなたの一歩を後押しできるように、これからもたくさん「人の風景」を追い続けます。



Fan Interview



今井 英樹さん(46)  
隼人町神宮在住

### 人の温もり通う「読者の声」

家族同然だった老猫が迷子になり、必死で探した2か月間。迷子の間親切な人に恵まれたおかげか、家で最期をみとることができました。情報を寄せてくださった方々に一言お礼を言いたくて読者の声に投稿。すると、再び温かい励ましの声をいただきました。顔も名前も知らない親切な市民の方と心が通じ合えた気がして本当にうれしかったです。このコーナーが人の温もりに触れ、新たな出会いが生まれるきっかけであり続けてほしいと願っています。

Fan Interview



加納 時子さん(63)  
隼分清水在住

### 生きる元気をくれた表紙写真

大病で通院と療養のため国分に住むことになった私。気持ちが晴れない日々の中、スーパーで偶然目に入った広報きりしまの表紙に思わず目を奪われ、ファンになりました。桜を見に行けなかった年の4月号にはきれいな夜桜が表紙を飾り、私の気持ちを察してくれたように思えてうれしかったです。元気をもらった今は体調も上向きで趣味の写真に励んでいます。広報きりしまはつらいときの私を支えてくれたパートナー。今後ますます素敵な表紙を期待しています。

## 私たちは、広報きりしまのファンです

広報きりしまには、たくさん読者の方がいます。

皆さんそれぞれ好きなコーナーがあり、そこには、その人なりの思いがあります。

Fan Interview



岡田 須恵子さん(69)  
福山町福山在住

### 一番身近で大切な読み物

毎月欠かさず目を通すのは広報誌くらい。それだけ生活に根付いた存在です。特集からお知らせまで全部読みますが、一番好きなのは織り込まれている絵はがきです。こんな美しい風景が市内にあったなんてと毎回驚かされます。私は車の運転ができないので、なかなか思うように出掛けられませんが、広報誌を通してすてきな景色と出会い、多くの情報をもらっています。たまにお便りを出しますが、掲載されるとさらに身近な存在に感じられてうれしいですね。

Fan Interview



岡元 朋美さん(30)、一心くん(1)  
隼人町住吉在住

### ママにお得なフリーペーパー

毎月子育てコーナーを楽しみにしています。施設の雰囲気や来場者の話が載っていて安心。気分転換で4か所も行って見ました。そこでは同じような悩みや趣味を持つお母さんたちと話ができて、とても気が楽になりました。クーポン券ではお気に入りのお店を発見して、今でも通っています。思い出の味のおいしい料理も、子育てが落ち着いたら作ってみたいです。これからもママにお得な情報が満載のフリーペーパー「広報きりしま」を楽しみにしています。

検証  
04

## 広報誌の効果

### お知らせ情報

広報誌には、たくさんのお知らせが載っています。その中にはきっと、あなたを笑顔にしてくれる情報があります。



左から: 牧ノ瀬花凜ちゃん(2)、ゆかりさん(35)、子龍君(5)、花蓮ちゃん(2)

広報きりしまには、毎回たくさんのお便りが届きます。3年前に届いた1通のはがきを見出しには「まさか自分が双子を授かるなんて」と書かれていました。このはがきを書いたのは溝辺町の牧之瀬ゆかりさん(35)。実家の理容室を手伝いながら、5歳と2歳の双子を育てる育児ママです。当時、2度目の出産ではありませんでしたが、最初と違ったのが「双子」。その違いに牧之

瀬さんは大きな不安を抱えていました。「二人目と違い、帝王切開になることや二人とも助かるとは限らないことなど、病院の先生から双子の出産にはいろいろなりリスクがあることを聞き、すごくショックでした。無事に生まれたとしても、一気に子どもが3人になることへの戸惑いもありました。あのときは、毎日が不安でした」出産に前向きになれたきっかけが広報きりしまに載っていた「双子三つ子の会」を紹介した記事。たった5行の内容でしたが、わらにもすがる思いで、夫と二人で会に参加。そこには、たくさん双子と三つ子のママたちが集まっていました。「皆さん気さくに話しかけてくれました。私があるときの不安な気持ちを話すと、共感してくれたり、経験談を交えながらアドバイスをしてくれたりしました。たくさん頼もしい先輩ママの存在を知

り、すごく前向きな気持ちになりました」牧之瀬さんのはがきの最後には「この会を紹介してくれた広報きりしまに感謝しています」と書かれていました。**私にもできることがある** この件以来、広報誌をさらに深く読むようになった牧之瀬さん。その変化は行動にも現れます。「昨年5月号に掲載されていたはじめについての特集を読み、私にも子どもたちの小さなSOSに気付けるのではと思いました。それから時間があるときには店の前に立ち、登下校の子どもたちにあいさつをするようにしています。広報誌にはたくさん記事が載っていて、私自身、気付かされることも多く、毎号とても楽しみです」 たった5行の記事からもらった明日への希望が、さらなる希望へとつながっていきます。

Verification

## 私は、あの5行に救われました

牧之瀬ゆかりさん(35) 溝辺町麓在住

Public relations Kirishima No.200 Memorial feature  
広報きりしま 200号記念特集

# 若者は広報誌に何を求めるのか

若年層の広報誌の閲読率は全国的に低く、霧島市でもほかの世代に比べると低くなっています。そこで、市ウェブサイトと街頭でアンケート調査を実施。若い世代に読んでもらうためのヒントを探りました。

さまざまなジャンルの特集や企画があつて面白い

## 時間がな

載っている写真が良くて、つい見てしまう

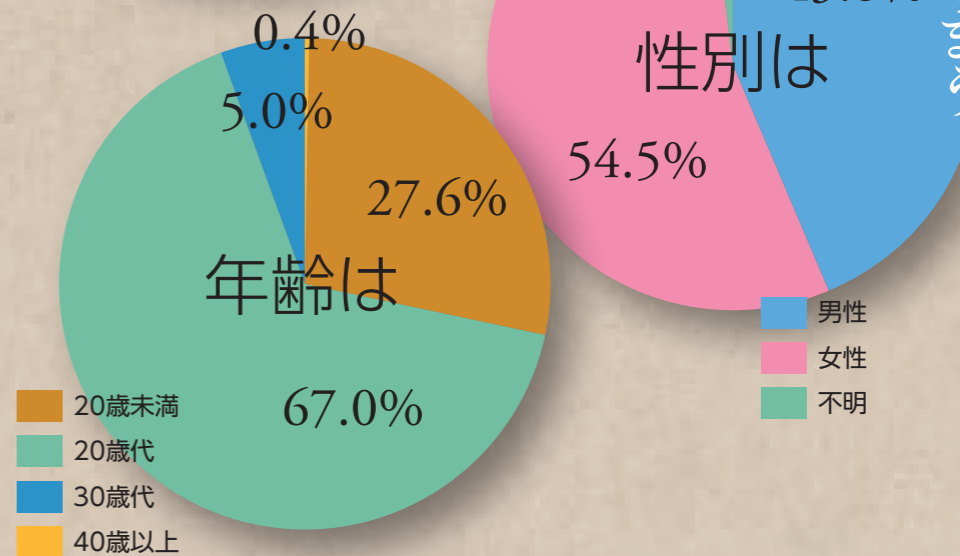
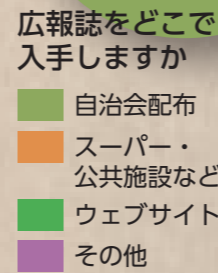
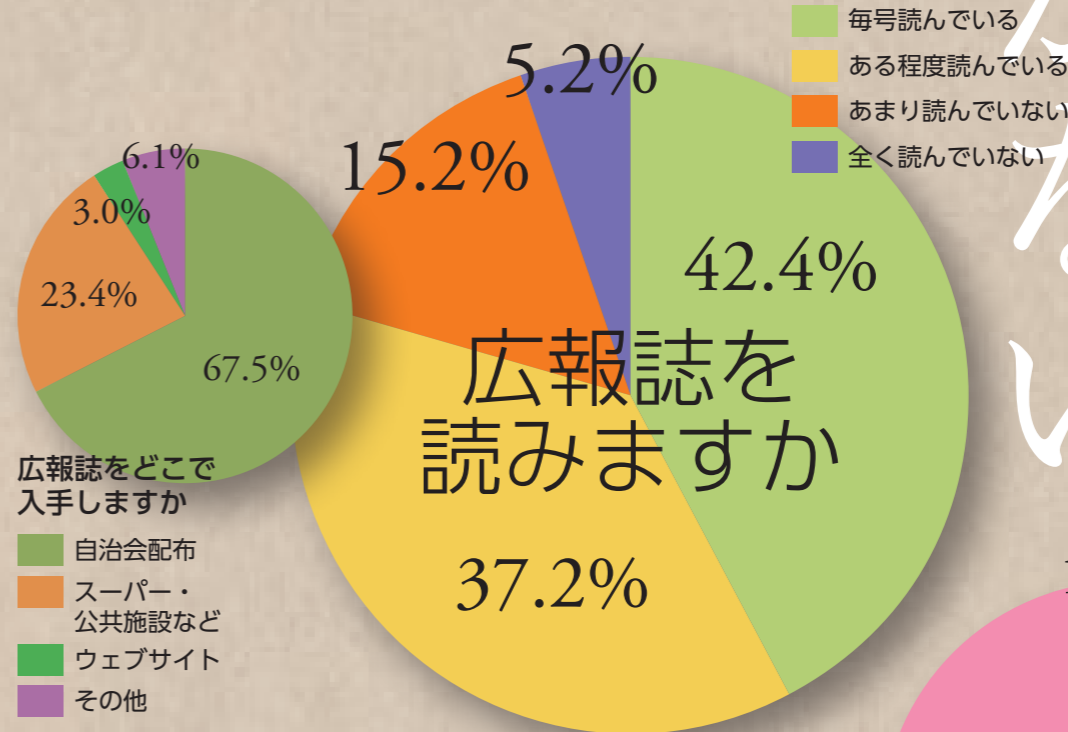
◎好きなコーナー

「クーポン&絵はがき」が多く、続いて「特集」「思い出の味」「人の風景」「読者の声」でした

人は霧島市の  
アピールポイント

全体を  
若者向けに

ネットを活用し、  
世帯配布をやめては



ある程度  
読んでいる



霧島市では毎年、無作為に選んだ3000人の方に行政に関するアンケート調査を実施しています。

「よく読んでいる」「ある程度読んでいる」の割合は60代以上が90%以上だったのに対して、20代51%、30代68%と低い数字でした。

実はあなたに関係する情報がある

アンケート結果を見ると、一番多いのが「毎号読んでいる」で42.4%、続いて「ある程度読んでいる」が37.2%と、関心が高いことを示しています。

しかし、「ある程度読んでいる」を「ある程度は読んでいない」と解釈すると見解は逆転します。

読まない理由の中で一番多かったのが「時間がな」などの忙しいことが要因でした。そのほかにあつたのが「自分に関係する内容が少な」という意見です。

広報誌は対象者の範囲が広いので、掲載される内容もさまざま。そのため、対象者を限定する内容が多いお知らせ記事は全体からすると知りた情報割合が少なく、関心を持つてもらえないようです。

その一方で、毎号読んでいる方もいます。その理由として「さまざまなジャンルの特集や企画があつて面白い」という意見がありました。

お知らせ記事と違い、特集などは、ほとんどが全ての方が対象。一見、必要ないと思われるテーマも実は皆さんに関係することがあります。

例えば昨年9月号で紹介した認知症特集。若い人の中には、まだ関係ないと思つた方もいたかもしれませんが、65

歳以上の4人に1人が認知症とその予備軍といわれ、最近では若くして発症する人も増えています。家族が、または自分が。そう考えると決して人ごとではありません。社会全体で考えなければいけない問題は、皆さんが当事者です。

新たな仕掛けが  
求められている

「広報誌にどんな情報があればいいですか」の問いには、小さな子どもと行けるカフェや公園などの子育て情報を紹介してほしいという意見が多くありました。

これまで、広報きりしまでも特集やシリーズで掲載したり、昨年度からは身近な子育て情報を掲載したりしていましたが、さらに充実した情報が必要のようです。

面白い活動や魅力的な若者、若い作家などをもっと紹介してほしいという回答も多く、中には「人は霧島市のアピールポイント」という意見もありました。ほかには、若年層向けのファッションなどの情

報、商店街の魅力についてという回答もありました。

自由意見の中で多かったのが写真について。「表紙の風景写真がきれい」「載っている写真が良くて、つい見てしまう」といった意見が多く、デジタルの重要性を改めて感じる結果でした。

「ネットを活用し、世帯配布をやめては」という意見もありましたが、幅広い年齢層に読んでいただくためには、紙媒体は必要です。しかし、ネット社会に対応することも大切。そこで広報きりしまでは昨年から電子書籍版での配信も行っています。

「全体を若者向けに」という意見もありますが、今の広報きりしまが好きで読んでいただいている方も大勢います。今後は、そんな皆さんの思いを大切にしながらも、若い人にも関心を持ってもらう仕掛けが求められているようです。



広報きりしまの電子書籍版



## 市外の人が行きたくなるまちにしたい



昨年、国分中央の飲食店街にオープンした「R・R・R (アール)」。目的は違っても、たくさんの方が集える場所にしたいと、洋服・カフェ・バーが一緒になった新感覚のお店です。

店長を務めるのは蒲生武蔵さん(30)。小さいころから服が好きで、大学卒業後、県外のアパレル関係に就職。昨年、「地元」に店を開く」という夢をかなえました。

しかし帰ってきて感じたのは、活気のなさでした。「観光地は市外からたくさんの方が訪れているのに、国分の市街地は、すごく寂しく感じました。魅力的な場所はたくさんある。よそからも人を呼べる場所にしたいと思いました」

蒲生さんは早速、行動を起こします。店の前の通りをおしゃれなイメージにしたいと、友人や店の客に頼み、通りなどを使ってファッションの撮影会を開催。撮った写真はフェイスブックなどで公開しました。(上写真)

すると、写真を見た人から「この通りはどこなの」「す

ごくおしゃれ」といった大きな反響がありました。

蒲生さんは「霧島市にもいろいろな才能や思いを持った若者がたくさんいます。そんな人たちが一緒になって何かできれば、このまちはもっと輝ける。多くの方が集える場を作り、みんなでまちをもっと元気にしていきたい」と目を輝かせていました。

お店には、市内の若い作家の商品も並びます。毎月第一日曜日には、革製品や服などのハンドメイド教室を開催し、頑張っている若者の情報を発信しています。

蒲生さんの思いは動き出したばかりですが、その一歩は着実に、このまちを輝かせてくれました。これからも、たくさんの方々と共に、その活動は続きます。



**蒲生武蔵さん(30)**  
国分清水出身、大学卒業後、県外のアパレル関係に就職。服だけでなくコーヒーやお酒も楽しめる店を出すために27歳のときに会社を退職。朝から夕方まではカフェ、夜はバーで3年間働き、昨年、国分中央三丁目へ念願の店をオープン。  
R.R.R ☎(73)7464

### 私のオススメ (まちで出会ったおしゃれな若者にお勧めスポットを聞きました)



**あゆ・かず**  
[霧島でお勧めのスポット]  
Hair, cache cacheに遊びに来てね。



**えり**  
[霧島でお勧めのスポット]  
RRRやanacafeなどおしゃれなカフェ。



**まい・めいちゃん**  
[霧島でお勧めのスポット]  
ヴォアラ珈琲によく行きます。



**MONch**  
[霧島でお勧めのスポット]  
パワースポットの霧島神宮。



**みおちゃんず**  
[霧島でお勧めのスポット]  
旅する雑貨屋 シャンティタウン。

## このまちを、もっと好きになる

若い人に読んでもらうためにはどうすればいいの。

アンケート結果で掲載してほしいという要望が多かった内容などを基に、同世代の5人が皆さんに紹介したい情報を掲載する新たなコーナーをスタートします。

コーナーの名は「Link(リンク)」。英語で結びつくことを意味し、若い人が

このまちに関心を持ち、結びつくことで、もっと霧島市を好きになるような情報をお知らせします。

ナビゲーターの5人は、皆さんの要望に関係する分野の方で、広報きりしまに関心の高い方をお願いしました。

それぞれのナビゲーターが毎月、交代で情報を発信。来年2月からは、これまで掲載してきた「若者掲示板」をリ

ニューアルして掲載します。

第1回の今回、ナビゲーターを務めていただくのは山口良樹さん(30)。地域情報サイト「きりなび」のウェブデザイナー兼カメラマンです。

今回は、新感覚なお店を経営しながら、若い力で地域の魅力を発信していきたいと活動している方を紹介します。

### 山口美保さん(31)

パート勤めをしながら小学1年と4歳、2歳の子育て中ママ。夫は単身赴任中、地域では自治会の班長も務める。子どもとイベントに出掛けるのが好き。



璃花ちゃん(2)

希愛ちゃん(4)

### 帖佐侑美さん(22)

南九州ケーブルテレビネットのライターとして、これまでたくさんの方や地域を取材。アクティブな性格で、商店街の魅力やグルメ情報などにも詳しい。



### 山口良樹さん(30)

地域情報サイト「きりなび」などを運営するブレイブのウェブデザイナー。プライベートでは雑貨やカフェなどが集まる「きりしまパレット」の実行委員をするなど行動派。



### 若者の若者による、若者のためのページ



### ナビゲーター紹介

### 徳留璃沙さん(26)

FMきりしまパーソナリティ。鹿児島市在住で、外から見た霧島市の魅力を紹介。好きなことは自然の中でのんびり過ごすこと。マンガとアニメソング好きの一面も。

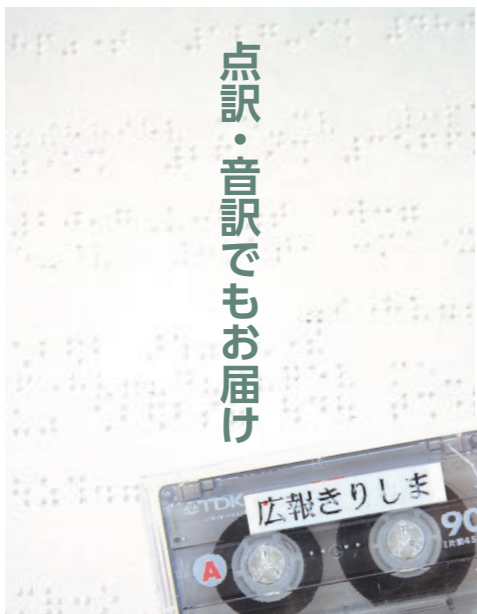


### 久木田大和さん(32)

35種類のサツマイモを作り、6次産業化にも力を入れ、農業と商工の連携を図る注目の若手農家。農業の楽しさを伝える取り組みもしている努力家。



点訳・音訳でもお届け



広報きりしまを創刊号から、点訳・音訳で紹介して下さっているボランティアグループをご存知でしょうか。

点字で紹介する点訳グループ「なんてん」、声で紹介する音訳グループ「さざなみ」の皆さんです。

これまで、広報誌で紹介したことがありますが、公民館講座などで点訳・音訳を学んだ皆さんが、一文字一文字思いを込めて訳してくださっています。



点訳グループ「なんてん」の皆さん



音訳グループ「さざなみ」の皆さん

「さざなみ」による広報きりしまの音訳を、FMきりしまで毎週土曜日午前7時30分から放送中

☎霧島市社会福祉協議会 ☎(45)1557

プロの技術で、リアリティーのある映像を配信

MCTはテレビ・インターネット・電話のサービスを提供している会社です。イベントやグルメ、暮らしなど地域に密着した情報を24時間365日放送しています。

今回から、リポーターの方が広報誌取材に同行し、番組を制作して放送します。

動画だからこそ伝わる臨場感を、お楽しみください。

今回は「国立公園で遊ぼう」を動画配信します。絶滅危惧種に指定されている「クロツラヘラサギ」の生態をご覧ください。

※詳しくは23ページ参照



MCTリポーターの皆さん

左から/後列: 中村有佐さん、小松真也さん、岩元明子さん、前列: 岡山明日香さん、帖佐伶美さん

MCT (南九州ケーブルテレビネット)

霧島青年会議所主催の「KIRISHIMAハッピーハロウィン」が11月9日、市役所周辺で初めて開催されました。子どもたちがお菓子をもらいに110番の家を回るパレードや仮装コンテストなど楽しい催しに多くの親子連れなどが楽しんでいました。

鹿児島弁の魅力満載、一味違った楽しみを声で

FMきりしまは音楽やイベント、市政情報などのほか、災害時にはリアルタイムで緊急情報を声で配信しています。

鹿児島弁で届けてくれるのは、「かごつま弁」が得意な2人のパーソナリティー。コミカルでどこか懐かしい放送をお楽しみください。

今回お届けするのは8~9ページで紹介した思い出の味について。放送は「769よいやんせ霧島」の番組内で12月18日(木)午後3時30分から、再放送を19日(金)午前10時30分から。

周波数は76.9、FMきりしまのホームページからアプリをダウンロードすると、エリア外でもスマートフォンで聞くことができます。



FMきりしま

左から/堀之内有里さん、Junjunさん

霧島市動画クラブ

地域の魅力を真心をこめた映像とともにお届け



左から/後列: 上輪瀬清一さん、徳田善三郎さん、中村義春さん、前列: 下登虎男さん、秋窪篤美さん

市の公民館講座で動画の撮影・編集を学んだメンバーが集まり、発足したアマチュア動画クラブです。

「地域のイベントや行事に出掛け、撮影させていただいています。インタビューを求めるかもしれませんが、ご協力ください」

第1回となる今回は、11月9日にあった「ハッピーハロウィン」を同クラブの秋窪篤美さんが紹介します。



KIRISHIMAハッピーハロウィンを、動画で見ることができます。

広報誌の楽しみ方がさらに広がる  
 動きのある映像を、鹿児島島の方言を楽しむことができるようになります

cross-media

最近では、動きを表現できる動画、保存性と詳細な説明が可能な紙媒体、スピードのネット、声で表現するラジオなど、それぞれの特性を生かして、効果的に情報発信する「クロスメディア」に力を入れているメディアが増えています。若い方へのアンケート結果で「動画でも紹介してほしい」という意見がありました。

広報きりしまでは、8月号から2次元バーコードを読み取ると動画を見ることができサービスの一部のコーナー

最近では、鹿児島弁を使わない人が増えています。そこでふるさとの方言を忘れないために「FMきりしま」の番組内で広報誌のどこかのコーナーを、パーソナリティーが鹿児島弁で紹介。紙面を読むのとは違った味わいで、一つのコーナーを2度楽しめます。霧島市ではこれからも、市内のメディアと協力しながら、皆さんがこれまでよりも楽しめる形で情報をお届けします。

動画では、南九州ケーブルテレビネットと協力。「思い出の味」や「人の風景」などを一緒に取材し、写真では伝えられない一連の流れや躍動感などを動画で紹介します。

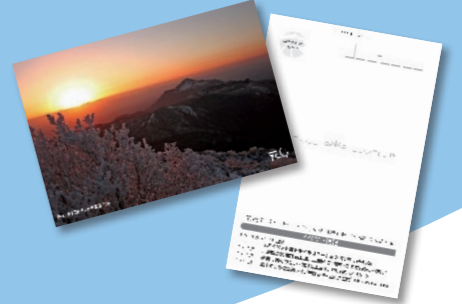
市内の動画クラブとも協力。イベントや行事など、身近な出来事を動画でも楽しむことができるようになります。

鹿児島弁で2度おいしい

動画で臨場感アップ

広報誌の必要性と可能性について、  
広報コンクールの事務局を担当し、  
全国の広報誌の動向に詳しい、  
公益社団法人日本広報協会の調査・企画部次長、  
藤本勝也さんにインタビューしました。

# 「広報きりしま」は 皆さんの自慢の一品



日本広報協会／昭和38年に設立された内閣府の所管団体。会員である  
地方自治体や各種団体の広報広聴担当者向けに、セミナーの開催やコ  
ンサルティング業務、各種情報提供、広報コンクールなどを行う。  
<http://www.koho.or.jp/>

平成23年3月11日に発生し  
た東日本大震災。被災した自  
治体が、住民への情報発信の  
媒体として選んだのは、ウェ  
ブサイトでも、ラジオでもな  
い、広報誌でした。

福島県相馬市では、避難所  
や給水、遺体安置所などの情  
報をお知らせするために3月  
14日、号外を発行しました。  
3号目からは、紙のストック  
が少なくなってきたため、回  
覧で対応。5月12日の16号ま

で号外は続きました。

災害のときには、電力が必  
要なウェブサイトやテレビ、  
ラジオなどは機能しなくなる  
場合があります。広報誌はそ  
んなときも頼りになります。

## 情報入手80%が広報誌

スマートフォンやタブレッ  
トの浸透など、情報入手スタ  
イルは変化し、紙媒体は読ま  
れなくなってきました。  
しかし、時事通信社が平成

## 読ませる工夫がたくさん

全国の広報担当者が毎号、  
読んでもらうための努力や工

夫をしています。それによっ  
て、全てのページを読んでし  
まい、読者が必要な情報を発  
見する。これが、広報誌にお  
ける情報発信のあり方の一つ  
ではないでしょうか。  
「広報きりしま」は、それ  
を高い品質で実践している広  
報誌といえます。

「見せる」という部分では、  
写真の品質が高い。表紙一面  
に写真を配置するようになっ  
てから、さらに写真の良さが  
際立つようになりました。

「読ませる」という部分では、  
専門家や地域の人などを取材  
し、彼らの言葉で語ってもら  
う記事構成が多く、「夢のカ  
タチ」「思い出の味」「人の風  
景」など、魅力的な連載が並  
びます。そのため、途中で息  
が切れることもなく、最後ま  
で読むことができます。

特に、料理に対する思いを  
掲載している「思い出の味」  
は、単なるレシピ紹介にとど  
まらない、記事としての深み  
が出ていて見事です。

さらに、毎月特集を組んで  
います。特集は、テーマを選  
び、全体のページ構成を考え、

## 魅力を感じる広報誌に

取材する。これは並大抵の労  
力ではできません。毎月特集  
を組めば、「今回の特集は何  
だろう」といった、住民が広  
報誌を読む楽しみが増えます。  
それが、やがて読む習慣につ  
ながっていきます。

最近「シテイ・セールス・  
プロモーション」という言葉  
をよく聞きます。自治体を持  
つさまざまな魅力を対外的に  
PRすることです。でも、ほ  
かのまちの人に魅力を感じて  
もらう前に、そこに住む人に  
魅力的と感じてもらわなければ  
ならないでしょうか。自分の  
まちを自慢したくなる気持ち  
を住民に持つてもらうことも、  
広報誌の役割の一つです。

「広報きりしま」では、き  
れいな写真が数多く掲載され  
ています。絵はがきには美し  
い景観やイベントなどの写真  
が載っています。絵はがきを  
親戚や友人に送り、まちの素  
晴らしさを紹介している方も  
いるとか。市民自らがPRし  
ようという気持ちになってい  
る証ではないでしょうか。

「広報きりしま」は広報コ  
ンクールに毎年入選する、全  
国トップレベルの広報誌。こ  
れからも、まちの魅力を高め  
ていくような広報誌を作り続  
けていけば、住民にとって「広  
報きりしま」もまちの自慢の  
一つになると思います。

(社)日本広報協会  
藤本勝也さん(52)



政府広報誌「時の動き」[Cabiネット]の編集デスクを経て、現在は広報関係の調査・研究、広報効果測定、コンサルティングなどを担当。ほかに、各種広報セミナー、全国広報広聴研究大会、全国広報コンクールなど、自治体広報担当者向けの研修・表彰事業の企画・運営も担当。

## 結論

人と地域を元気にする広報誌。  
あなたの一步のために「広報きりしま」は必要です。

平成19年9月号で掲載した特集「風を感じて」



**今** 回紹介したように、広  
報きりしまがきっかけ  
となって、新たなことに挑  
戦する人たちがいます。そこ  
には、たくさんの笑顔があり  
ました。広報誌には人と地域  
を元気にする力があります。

このことを強く実感したの  
が平成19年9月号で掲載した  
特集「風を感じて」です。駅  
を活用し、地域の活性化に励  
む活動を紹介しました。

その中で、嘉例川駅の活  
性を紹介した写真が、全国  
広報コンクール組写真の部  
で「特選」をいただきました。  
そのことが新聞で紹介され  
ると、撮影に協力していただ  
いた当時の嘉例川駅名誉駅長の  
福本平さんから電話があり  
「ありがとうね、おかげでま  
た嘉例川が元気になった」と  
言ってくれました。

自分たちの書いた原稿が、  
撮った写真が人を笑顔にし、  
地域を元気にすることができ  
る。あのときの感動は今も忘  
れることができません。  
広報きりしまでは、住民の  
声で思いを伝えるために毎回、  
多くの人に登場してもらって

います。一冊の広報誌には、  
そのたくさんの方が詰まっ  
ています。その思いに読者は  
感動し、感動が行動へとつな  
がります。

皆さんの声を聞き、その思  
いと一緒の一つのテーマを掘  
り下げていく。一方通行のお  
知らせではなく、皆さんと一  
緒に作る双方向性の広報誌だ  
からこそ思いは伝わるのだと  
思います。

多くの方の支えのおかげで  
200号を迎えることができ  
ました。感謝の気持ちを毎号  
込めながら、人や地域がさら  
に輝けるような広報誌を、こ  
れからも皆さんと一緒に作っ  
ていきたいと思えます。



広報きりしま編集スタッフ



霧島山が国立公園に指定されて80周年。国立公園をもっと知って、もっと楽しむためのシリーズ第8回は、NPO法人くすの木自然館の下野智美さんの案内で、南九州ケーブルテレビネット㈱入社1か月の小松真也さんが、浜之市調整池でクロツラヘラサギを観察してきました。

## クロツラヘラサギに会いに行こう

観察の様子をケーブルテレビで放送します

- 放送日時=12月13日(土)~16日(火)、20日(土)~23日(火・祝) 午前3時~、8時~、正午~、午後4時~、8時~、11時~
- 番組名=南九州ケーブルテレビ「情報マルシェ」



こちらの二次元バーコードからも視聴できます



シリーズ⑧

霧島錦江湾国立公園で遊ぼう



餌を食べる仕草が何ともかわいいですよ

特徴を教わりクロツラヘラサギが見分けられるようになりました

今回のリポーター  
NPO法人くすの木自然館  
下野智美さん

体験者  
南九州ケーブルテレビネット㈱  
小松真也さん

### ◎クロツラヘラサギとは

ペリカン目トキ科。背高約75cm。世界で生息が約2,700羽しか確認されていない絶滅危惧種。小魚やエビ・カニなどを捕えて食べる。日中は休んでいることが多く、朝方や夜に活発に餌を食べたり、飛んだりする。寿命は10年ほどと推察され、生態に不明な点も多い。日本には例年、韓国や北朝鮮から越冬のため約350羽飛来。そのうち鹿児島湾奥には福岡、熊本、沖縄の次に多い約40羽が訪れ、5月ぐらいまでとどまる。

### ◎注意点

- ・近づき過ぎない
- ・大声を出さない
- ・野鳥が誤飲するようなビニールや釣り針などのごみを捨てない



注意看板



釣り糸がくちばしに絡まった様子  
提供：くすの木自然館



名前の由来  
「クロツラヘラサギ」は「クロツラヘラ」が「クロツラヘラ」の古語で「黒い」を意味し、「サギ」は「鳥」を意味する。



### クロツラヘラサギの見分け方

飛ぶときや、休むときは背中と頭の位置が水平になる。一緒に見られるダイサギなどは首が上に伸びている。(右がクロツラヘラサギ、左はダイサギ)



### 市内のクロツラヘラサギの越冬場所

### あなたも観察しませんか

専門家の解説付きで観察をサポートします。料金は双眼鏡の貸し出し付きで1人1,000円程度。詳しくは問い合わせください。

☎(67)6042 小松真也

11月上旬、隼人町真孝の浜之市調整池にクロツラヘラサギが飛来していると聞き、観察してきました。

この日は100羽を超える水鳥を発見。ダイサギやコサギ、カモなどに混ざり、クロツラヘラサギは12羽しかいないとのこと。本当に希少なのだと実感しました。市街地近辺でこれほど間近で観察できる場所も珍しいと聞き驚きました。下野さんの分かりやすい解説と野鳥の違いを見分けられる観察眼にも舌を巻きました。私も次第にほかの野鳥との違いが分かるようになり、とてもうれしかったです。

この湾奥地域は餌が豊富で安心できる場所だから越冬に来るのだそうですが、くちばしに釣り糸が絡まるなどして傷ついたり命を落としたりするクロツラヘラサギもいると聞き心が痛みました。

ふるさとの自然の豊かさとそれを守る大切さに気付くきっかけになった今回の体験。皆さんもクロツラヘラサギを見て感じてほしいです。

(体験レポート) 小松真也



夢のカタチ

未来の夢を追う若者たちの今を描きます

このコーナーでは、各分野で活躍する子どもたちを紹介し、夢に向かって頑張る子どもたちを、ぜひ応援してください。



母 愛子さん (37)

試合前は、できるだけプレッシャーを感じさせないように気を使っています。私には栄養面を考えると動画を撮ることぐらいしかできませんが、これからも全力で娘の勝ちたい気持ちを応援します。



型の中で一番こだわっているのが蹴りのスピード

8月3日、福岡県で開催された第45回少林寺流錬心館全国空手道選手権大会の小学校低学年型の部で優勝した天降川小学校3年の岡留結衣さん(9)。昨年夏から出場した大会は全て優勝している注目の空手少女です。普段はお笑い番組が好きで、家でも学校でも明るい彼女ですが、ひとつひとつ道着を着ると笑顔は消え、武道家の顔に変わります。

師範代を務める父・良さんのりりしい姿に憧れて5歳のときに空手を始めた岡留さん。しかしそこは、甘い世界ではありませんでした。

空手の基本姿勢は腰を落として低く構えるため、その姿勢を維持するのがつらくて、最初のころは涙を流すことも多かったといいます。もつとつらかったのが「お父さん」と呼べないこと。親子と師弟の区別を付けるために道場では「先生」と呼び、厳しく接する父の姿に戸惑いを感じていました。

## 負けるのは嫌い、夢は空手で世界一

### 少林寺流錬心館全国空手道選手権大会優勝



天降川小3年 岡留結衣さん(9)  
蹴りのスピードや技の切れに磨きをかけるため筋力アップに励む。

そんな岡留さんを奮い立たせたのが負けず嫌いな性格でした。

「私は負けるのが嫌いです。相手が年上だろうが、男の子であろうが、負けたときは悔しくて涙が止まりません。負けたくない。その思いで必死に稽古に励んでいます」

稽古以外でも、持久力を付けるために走ったり、敏捷性を鍛える器具を使ったりしています。

岡留さんの型は、その美しさやスピードだけではなく、技と技との間の取り方が高く評価されています。そこには家族の存在がありました。

「父は厳しく指導してくれます。母はいつも練習や試合の様子を動画で撮影してくれるので、時間があれば何度もチェックして自分の型を見直しています。日本一になれたのも支えてくれるたくさんのおかげです」

日本一の型は、「負けたくない」という強い思いとたくさん支えによってできたもの。夢は「空手で世界一になること」と話す岡留さん。その実現に向け、今日も稽古に励みます。

ギャラリーには和紙を使った照明などの作品がずらり。  
 温かい癒やしの空間に



# 人の風景

THE SCENE Vol.95

## 霧島に生きる



工房で紙をすく原口さん。粘り気のある原料をすくい、  
 大きな箕桁を慣れた手つきで動かす

# 和紙

S L O W

L i f e

**日** 本時間の11月27日、歌舞伎や能楽、和食などに続いて、世界無形文化遺産に登録された「和紙」。日本の無形文化遺産は22件で、今、和紙が注目を集めています。

そんな和紙に魅了された女性が霧島市にいます。原口敬子さん(27)。和紙デザイナーとして日本とデンマークで活動を続ける彼女は「和紙の魅力をもっと伝えたい」と力を込めます。

短大で建築を学んでいた原口さんは、建物だけでなく空間づくりを大切にしているデンマークの建築に興味を持ち、卒業後、単身デンマークへ。そこで温かい光に包まれた生活に出合います。「冬場は午後3時には暗くなるので、早い時間から明かりを付けます。どこの家庭も間接照明を使った雰囲気のある光の中で、家族や大切な人とゆったりとした時間を過ごしていました。異国で不安だらけだった私もその光に癒やされ、デンマークの照明に興味を持ちました」。

デンマークのデザイン学校で勉強を続けながら、日本を離れたことで日本の伝統文化にも興味を持つようになった原口さん。デンマークの照明と日本文化の融合を考えたとき、美しく丈夫な和紙を思い付いたといいます。

鹿児島市で和紙を作る種子田幸廣さんの存在を知り、帰国後、23歳で弟子入り。和紙の世界へ飛び込みます。原料となるのはコウゾという木。その枝を灰汁で半日たき、木槌でたたき、細かい繊維状に。水に入れ、トロアオイの根から作った粘液を混ぜる。箕桁ですくい揺すって繊維同士を絡ませ、乾燥させたら完成。「手間隙がかかり、体力的にもきつい作業ですが、

自然の物で作られ、一枚一枚表情が違う和紙の魅力にどんなにハマっていききました。初めて手すきの和紙に明かりをともしたとき、デンマークの温かい光と重なって感動したことを今でも覚えていいます」と原口さんはほほ笑みます。

和紙作品を作り始めて4年。初めのころは、納得いく作品ができずに試行錯誤の日々だったといいます。注文を受けても、相手の意に沿わず全部作り直したことも。それでも種子田さんの下で勉強を続け、今年5月には鹿児島市に工房とギャラリーを開設。色を付けた繊維を和紙に流し込んで作った照明やイラストなどの作品制作に取り組んでいます。

「和紙には無限の可能性があります。伝統を感じさせるもの、ポップなもの、平面、立体、小物から壁一面の大作品までさまざまな表情を見せてくれます。日本はもちろん、世界中に和紙の魅力を伝えたい」と意欲を燃やす原口さん。これまで公民館講座や子どもたちの体験教室で講師を務めるなど地道な活動も続けています。

「私がデンマークで温かい光に助けられたように、いつか自分の作品が誰かを幸せにすることができたらうれしいですね。使う人のことを思いながら、これからも作り続けます」

「人や流行に流されず、それでも柔軟でありたい」と話す原口さん。伝統の重みと、それにとらわれない多彩な表情を持つ和紙。一本芯が通っているからこそ、さまざまな表情が美しく映る。伝統文化を守り、そこに新しい風を取り入れる原口さんの生き方は、どこか和紙に似ています。

\*1 ユネスコの事業の一つで、伝統的な工芸技術や文化、芸能など無形のもの保護と継承を目的としたもの。  
 \*2 手すき和紙の道具。原料をすくい、縦横に揺すり繊維をからませることで紙を作っていく。

**原口敬子さん(27)**  
 和紙デザイナー。単人中、加治木高校、鹿児島県立短大を卒業後、単身デンマークへ。帰国後、和紙を使った作品づくりに取り組む。小さいころから物づくりが好き。現在は、デンマークの病院から依頼を受け、デンマークの童話「みにくいアヒルの子」のイラストをあしらった作品を制作中。

和紙工房&ギャラリー 「K washi design lab.」  
 鹿児島市鴨池1-12-20 毎月第3金・土・日、10:00~17:00 ☎090(8915)6846



①色を付けた原料を和紙に流し込む ②さまざまな表情の手すき和紙 ③箕桁や木槌など和紙作りに欠かせない道具 ④色と光を楽しむカラフルな照明作品 ⑤和紙を通した光が温かく周りを照らす ⑥部屋いっぱいにそびえる迫力満点の作品

お知らせ

政治家の寄附は禁止、有権者が求めることも禁止

年末年始は何かと贈り物やお祝い事をする機会が多いシーズンですが、政治家が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは公職選挙法で禁止されています。有権者が政治家に求めることも禁止です。寄附禁止のルールを守って、明るい選挙を実現しましょう。

次の禁止事項で処罰されると、公民権停止（立候補、投票、選挙運動への参加が禁止されること）の対象となります。

- 政治家の寄附
- 政治家に対する寄附の勧誘、要求
- 政治家が関係する団体の寄附
- 後援団体の寄附
- 政治家があいさつ目的の有料広告を出すこと
- ※年賀状などのあいさつ状も禁止されています。

※詳しくは、市ホームページをご覧ください。

☎(42) 1143

「コア・よか」年末・年始休業

市民サービスセンター「コア・よか」は、12月29日(月)から平成27年1月3日(土)までの間は休業となります。

年末年始以外は、土日・祝日も毎日開所しています。各種証明発行や市税などの納税ができますので、お気軽にご利用ください。パスポート申請のみ取扱時間が異なります。

●開所時間 午前10時～午後7時

●パスポート申請時間 午前10時～午後4時30分(平日のみ)

☎(46) 1337

年末年始、交通事故や犯罪に注意

●**交通事故防止運動**  
交通事故死亡事故が多発中で、特に歩行中の高齢者が犠牲になっていきます。道路を渡るときは、右側だけでなく左側から車が来ないか確認しましょう。

●**交通安全課**  
年末年始は飲酒の機会が増えます。絶対に飲酒運転をしないようにしましょう。

●**実施期間** 12月10日(水)～平成27年1月10日(土)

●**スローガン** 年末年始マナーアップで事故防止

●**運動の重点**  
・高齢者の交通事故防止  
・早朝、夕暮れ時、夜間における交通事故防止、サンライト運動の展開、夜光反射材用品の着用の推進。  
・飲酒運転の根絶

●**地域安全運動**  
児童・生徒への声掛け事案や窃盗事件、振り込め詐欺など特殊詐欺被害が発生しています。市民の皆さん一人一人が地域の見守り活動をし、自分たちの手で「安心安全なまち霧島」を築きましょう。

●**実施期間** 12月10日(水)～平成27年1月10日(土)

●**スローガン** 日本一犯罪の少ない鹿児島づくり

●**運動の重点**  
身近に発生する犯罪被害、特殊詐欺(うそ電話詐欺)被害、子どもと女性の犯罪被害の防止。

☎(64) 0997

「児童扶養手当法」の一部が改正されました

これまで、公的年金を受給する方は児童扶養手当を受給できませんでしたが、12月以降は、年金額が児童扶養手当額より低い方は、その差額分の児童扶養手当を受給できるようになります。

●**児童扶養手当を受給するためには申請が必要です。** 手当てには申請が必須です。手当ては申請の翌月分から支給開始となります。ただし、これまで公的年金を受給していたため、12月1日に支給要件を満たしている方は、平成27年3月までに申請すれば12月分の手当から受給できます。

●**12月から平成27年3月分の手当は、平成27年4月に支払われます。**

●**個人住宅の太陽光発電設備でも償却資産の申告が必要**  
な場合があります

●**提出期限** 平成27年2月2日(月)

●**提出書類** 償却資産申告書、種類別明細書、借用資産明細書。

●**グループ** ☎(64) 0885

●**固定資産の所有者が死亡した場合の申告**  
固定資産の所有者が亡くなった場合は、「相続人代表者指定申告書」の提出をお願いします。これは遺産相続が行われるまでの間、納税の管

●**提出書類** 償却資産申告書、種類別明細書、借用資産明細書。

●**グループ** ☎(64) 0885

●**提出書類** 償却資産申告書、種類別明細書、借用資産明細書。

●**グループ** ☎(64) 0885

固定資産の所有者が死亡した場合の申告

●**提出書類** 償却資産申告書、種類別明細書、借用資産明細書。

●**グループ** ☎(64) 0885

●**事業をしている方は償却資産の申告**  
事業を行っている方は、毎年1月1日現在の償却資産の状況を、その資産が所在する市町村へ申告する義務があります。

平成26年度霧島市民会館自主文化事業

# 爆笑ライブ in 霧島

週末お笑いライブ in 霧島

+2組参戦 詳細は後日公開!

次長課長  
天竺鼠  
パンクブーブー  
フルーツポンチ  
マテンロウ  
シンズ

キングオブコント2014 7代目王者!

平成27年 1月11日(日)

開場 11:30 / 開演 12:00

場所 霧島市民会館

●**出演** 次長課長、パンクブーブー、天竺鼠、フルーツポンチ、シンズ、マテンロウほか

●**チケット** 全席自由席 3,500円(当日券は4,000円)

●**販売先** 霧島市民会館/国分シビックセンター1階売店/きりしま国分山形屋/ミヤタカンパニー/プラスきりしまカードインフォメーション/霧島市教育委員会文化振興課・各出張所/国分進行堂/A・コープ鹿児島(あいら・姫城・隼人・国分・国分西)/ローソンチケット/チケットぴあ/イープラス

☎=霧島市民会館 ☎(64)0926

●**「緑の募金」カレンダーバザー展**  
企業や団体から寄贈されたカレンダーによるバザーを行います。その売上げの全額を「緑

●**新春市民のついで**  
平成27年は、霧島市が誕生してから10周年という節目の年です。新しい年のスタートを共に祝い、初日をよう拝しまししょう。

●**法務局からのお知らせ**  
鹿児島地方法務局霧島支局での国籍事務(帰化、国籍取得、国籍離脱など)は、平成27年1月1日から鹿児島地方

	霧島市商工会 ☎(42) 2128	霧島商工会議所 ☎(45) 0313
期日	平成27年1月7日(水)	平成27年1月9日(金)
場所	霧島国際ホテル	ホテル京セラ本館
会費	5,000円	5,000円
内容	16:00～講演会(愛華みれさん:元宝塚華組トップスター)	17:40～歓迎演奏会
	18:00～懇談会	18:00～懇談会

新春賀詞懇談会の案内

●**日時** 平成27年1月1日(元旦) 午前6時55分～7時40分(雨天中止)

●**場所** 城山公園(国分)

●**内容** 太鼓演奏、市制施行10周年記念テーマ書き初め、小・中学生による一言リレー発表、初日のよう拝など。

☎(64) 0915



※問=問い合わせ先 申=申し込み先 提=提出先 応=応募先  
 ※健マ=「健康マイレージ」対象の事業(20歳以上が対象)  
 健康マイレージについての問い合わせは、健康増進課健康づくり推進室 ☎(64)0905

法務局(鹿児島市鴨池新町1-2)の戸籍課で取り扱うことになりました。詳しくは問い合わせください。

◎問 鹿児島地方方法務局 ☎099(259)0668

**国分書道同好会展**

会員らの作品約40点を展示します。

●日時 12月3日(水)～16日(火)午後3時30分

●場所 国分シビックセンター市民ギャラリー

◎問 国分書道同好会(黒木) ☎(47)0294

**暖房機器の事故に注意**

12月に入り、石油ストーブ、ガスファンヒーターなどの暖房機器を使用している家庭も多いと思いますが、毎年、事故も発生しています。使用の際は、温風の吹き出し口や火のそばに、スプレー缶や洗濯物などの可燃物を置かないようにしましょう。換気せずに使用すると、不完全燃焼による一酸化炭素中毒を引き起こすことがありますので、定期的に空気を入れ替えます。

市は平成27年に市制施行10周年を迎えます。そこで、市民の皆さんや各種団体が企画し、開催する事業で「霧島市市制施行10周年記念」の冠を使用していただける事業を募集します。

**募集**

**市制施行10周年記念 冠事業を募集します**

●対象 平成27年1月1日から12月31日までに開催する事業

◎問 申 総務課市民運動推進室 ☎(64)0915、単人地域振興課、各総合支所地域振興課

替えましょう。

リコール社告(企業などが一般に向けて出すリコールの知らせ)の対象製品をそのまま使うと、火災や一酸化炭素中毒につながる危険があります。お手元の暖房機器を確認し、該当する製品の場合はすぐに使用を中止し、メーカーや販売店に連絡しましょう。

◎問 霧島市消費生活センター ☎(64)0964

なります。

●申込書の配布・受付期間 12月8日(月)～19日(金)

●抽選日 平成27年1月7日(水)

※申し込みについては所得制限などの条件があります。

※部屋の詳細は市ホームページをご覧ください。

※中所得者向けの特定公共賃貸住宅と国分・単人地区を除く市営住宅は、随時募集しています。希望の方は申し込みください。

◎問 国分単人地区は建築住宅課

◎問 国分単人地区は建築住宅課 ☎(64)0909、そのほかの地区は各総合支所産業建設課

**みぞへ新春書き初め大会**

●日時 平成27年1月4日(日)午前9時から※荒天の場合は中止(受付 午前8時30分から)

●場所 溝辺公民館(みぞめ館) 2階研修室

●対象 小学生以上

●参加料 300円  
 ●申込方法 直接または電話、ファクスで。

◎問 申 2階研修室

**メディアセンター主催講座**



●申込期限 12月19日(金) ※当日申し込みもできます。

◎問 申 溝辺教育振興課 ☎(58)3391、FAX(58)3115

講座番号	講座名	日時	受講料	定員	申込期限(必着)
1104	仕事に役立つエクセル基礎講座	1/13(火)、1/14(水) 18:30～20:30	500円	20人	12/25(木)
303	スマホ・タブレット活用基礎講座	1/20(火)、1/21(水) 9:30～15:30	1,000円	12人	1/6(火)

※会場はメディアセンターです。  
 ※受講決定ははがきで通知します。(申し込み多数の場合は抽選)

●申込方法 往復はがきに講座番号、講座名、住所、氏名、電話番号を記入し郵送。  
 ◎問 申 2階研修室

**国際交流員と交流しよう**



コース名	国際料理キッチン	中国語教室
日時	1/14(水) 18:00～20:00	1/15(木) 14:00～15:00
場所	国分公民館調理講義室	国分公民館小研修室
定員(対象)	先着15人(霧島市民)	先着15人(霧島市民)
参加費	500円	無料
申込期限	1/7(水)	1/13(火)
備考	韓国のお正月料理「トックク(餅のスープ)」を作ります。	中国の日常会話を学びましょう。(申し込み少数の場合は中止の場合あり)

※電話か市ホームページから申し込みください。

◎問 申 企画政策課国際交流グループ ☎(64)0914

**市営住宅の入居者募集**

国分・単人地区の市営住宅(11月28日までに入居準備のできた部屋)の入居者を募集します。

申し込みは団地ごとに受け付け(1世帯1団地に限り)、申し込み多数の場合は抽選と

☎(64)0919、〒899-14394 国分中央三丁目45-1

**サン・あもり自主講座**



●骨盤エクササイズ講座

●日時 平成27年1月～3月、午前9時50分～10時50分(毎週月曜、全8回)

●開講日 1月19日(月)

●受講料 3460円

●定員 先着30人

●太極拳講座

●日時 平成27年1月～3月、午後2時～3時30分(毎週金曜、全10回)

●開講日 1月9日(金)

●受講料 4320円

●定員 先着20人

●申込方法 直接または電話

◎問 申 サン・あもり ☎(43)3373

●市民公開講座

「地域でその人らしく生きていくことを支える」と題して公開講座を開催します。(参加無料)  
 ●期日 12月27日(土)  
 ●場所 国分シビックセンター多目的ホール

**市が策定中の計画などへの意見を募集**

市が策定中の計画(案)などに対するご意見を募集します。ご意見は計画などの策定の参考とさせていただきます。\*ご意見に対する個別の回答はしません。\*詳しくは市ホームページをご覧ください。

計画などの名称	悪臭防止法に基づく規制方法及び規制地域変更(案)	霧島市教育振興基本計画後期計画(案)	霧島市第7期高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画(案)
内容	悪臭防止法に基づき、工場・事業場から発生する臭気の規制方法及び規制地域の変更を検討しています。	平成27年度から5年間の教育の振興のための施策に関する後期基本計画を策定中です。	高齢者の皆さまが地域社会で、すこやかに安心して生活を送るための計画を策定中です。
公表(意見受付)期間	12/10(水)～1/9(金)	12/12(金)～1/13(火)	12/19(金)～1/15(木)
公表方法	各担当課、市ホームページ、国分シビックセンター情報公開室、単人庁舎単人地域振興課、各総合支所地域振興課、市民サービスセンター「コア・よか」、福山市民サービスセンター		
提出方法	閲覧場所にある意見提出用紙に記入の上、意見投書箱に提出。郵送・ファクスでの提出。市ホームページの入力フォームから提出。		
担当課	環境衛生課 ☎(64)0950、FAX(47)1930	教育総務課 ☎(42)1115、FAX(42)1109	長寿・障害福祉課 ☎(64)0995、FAX(45)1900

●講師 石垣靖子さん(北海道医療大学大学院看護福祉学研究所客員教授)

【第一部】  
 ●時間 午前10時～11時30分

●対象 一般、学生。

【第二部】  
 ●時間 午後1時30分～3時30分

●対象 医療・介護分野の仕事をしている方

●定員 各300名

※申込方法 第一部は申し込み不要ですが、第二部は事前に申込用紙を提出してください。詳しくは問い合わせください。

◎問 申 市立医師会医療センター(看護部) ☎(42)1171

**放送大学4月生募集**

放送大学では平成27年度第1学期(4月入学)の学生を募集しています。

放送大学はテレビなどの放送やインターネットを通して学ぶ通信制の大学です。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。

資料は無料で差し上げますので、問い合わせください。放送大学ホームページでも受け付けます。

●出願期限 3月20日(金)

◎問 申 放送大学鹿児島学習センター ☎099(23)93811

**県立高等技術専門校 平成27年度入校者募集**

●始良高等技術専門校  
 ●募集科目 情報処理科、メカトロニクス科  
 ●鹿屋高等技術専門校  
 ●募集科目 電気設備科  
 【両校共通】  
 ●応募資格 高校卒業(見込みを含む)者か同等以上の学力を有する方。  
 ●定員 各20人  
 ●願書締切 平成27年1月16日(金)  
 ●試験日 1月26日(月)  
 ●会場 各高等技術専門校  
 ●試験科目 筆記試験(総合問題)、面接。

◎問 申 始良高等技術専門校 ☎(65)2247、鹿屋高等技術専門校 ☎0994(44)8674

# 全国初!<sup>(かも)</sup>袋とじ付き広報誌

「広報きりしま」は、おかげさまで200号。  
今回は皆さまへの感謝の気持ちを込め、  
企業さまのご協力で**豪華プレゼント**を  
ご用意いたしました。



感謝の気持ちです

冊子ならではの「袋とじ」で  
ちょっぴりドキドキ度もアップ。  
さあ、今すぐ開いて、応募しましょう!

## 【応募方法】

### ◎はがきで応募

広報誌のはがき、または官製はがきに下記の必要事項を記入し、あて先までお送りください。

◎インターネットで応募  
市ホームページの応募フォームで必要事項を入力し応募してください。



応募フォームへはコチラから

### 〈必要事項〉

- ①ご希望のプレゼント番号と賞品名、②名前、③年齢、④性別、⑤郵便番号、⑥住所、⑦電話番号、⑧読んだ感想やメッセージ(広報きりしまの「読者の声」コー

ナーに掲載させていただく場合があります)、⑨ペンネーム(記入がない場合は実名で掲載させていただく場合があります)

【あて先】〒899-4394 霧島市役所広報プレゼント係  
【応募締切】平成26年12月24日(水) ※はがきは当日消印有効

※応募は1人1回とし、複数応募した場合は無効とさせていただきます。

### 【当選発表】

厳正な抽選の上当選者を決定し、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

【問い合わせ先】秘書広報課 ☎(64)0955

**霧** 島市のきりしま歴史講座を受けています。きつかけは、歴史好きの友人から無料だから一緒に受けようと思ったので参加でした。霧島市に住んで35年。知らないことばかりで受講して本当に良かったと思います。高齢の参加者も多く皆さんとても勉強熱心で、質問もたくさんされています。いつまでも学習する意欲を持つことは素晴らしいことだと思います。(くまのブーさん44歳女性)

したパンフレットを作成しています。家族やお友達と出掛けてみませんか。  
**新** 燃岳に続いて硫黄山周辺にも規制が出されませんでした。残念ですが仕方ありません。地図を広げて歩けるルートをどのようにアレンジするのかを考えるのもなかなか楽しいものです。汗を流すために温泉に浸かりながら、自然の驚異と恩恵を感じています。(しおこうじ46歳男性)

魅力はまだまだまだたくさんあります。それぞれの霧島の楽しみ方を見つけてください。  
**先** 月いっぱい17年間勤めた会社を辞めました。ちよつとゆつくりできる時間ができたので11月の初めごろ、主人と息子夫婦、孫2人と京都旅行に行ってきました。紅葉はまだまだでしたが、その時期を外したおかげで混雑もなく、ゆつくりと見て回ることができました。13年ぶりの旅行、とても良い思い出になりました。(メロくん53歳女性)

家族で楽しい旅行ができることはありがたいことですね。次はどこに行きましょうか。目標を決めると毎日が楽しくなりそうですね。  
**初** めて骨折をしました。松葉杖を両手に持って生活しなければならなくなり、普段なら感じることもないであろう苦痛や不便さを痛感しました。そんな中、買い物に行ってもかごを持っていないことに気がきました。何軒かの店舗では車いすが置かれており、本当に助かりました。また、車いすの私を見て品物を袋に入れてくださったり荷物を運んでくださる方々にも出会いました。本当にありがとうございます。元気がなくなりましたが、このご厚意をほかの困っておられる方にお返ししたいと思っています。骨折したことでバリアフリーのお店やサービスが増えるといいなと思いました。(S・H28歳女性)

広報誌を読んでいただき、その記事がきっかけで新たな取り組みや動きが始まる。それが広報誌の役割の一つでもあります。今月は広報誌200号。私たちも皆さんのチャレンジを励みに頑張ります。  
このほか23通のお便りをいただきありがとうございます。文章は紙面の都合上訂正させていただくことがありますので、ご了承ください。



後藤 多喜子さん(国分)

## Readers Voice 読者の声

このコーナーは読者の皆さんからの声を伝えるページです。本誌への感想、霧島市への思いなど、たくさんのお寄せください。



COMMUNITY

この側を丁寧に切り開いてご覧ください

今回から始めました



## 3 新日本航空様より 霧島市内&霧島連山の遊覧飛行体験を1組様にプレゼント (約50分、3名様まで搭乗可能)



～遊覧コースの一例～

- ・鹿児島空港周辺スペシャル体験コース…約10分
- ・錦江湾周遊コース…約20分
- ・霧島コース…約30分
- ・霧島市内コース…約40分
- ・霧島連山コース…約50分
- ・ナイトフライト霧島コース…約50分

※オリジナルコースのフライトもできます。お気軽にご相談ください。  
※天候等により、当日運航できない場合もあります。予めご了承ください。

1機貸し切り  
9,300円～



セスナ機で大空を散歩してみませんか？鹿児島の大パノラマが体感できます！飛行機は鹿児島空港の専用ゲートから出発します。離陸すると、すぐに美しい錦江湾と噴煙立ち上る桜島をご覧頂けます。霧島連山コースでは、高高度から宮崎、阿蘇が遠望できる日もあります。夜間飛行では一面に広がる星空と眼下に広がる街の灯りがムード満点です。ぜひ、地上を離れて非日常のひとつときをお楽しみください。

**NJA** 新日本航空株式会社 受付時間 9:00～17:00 (年中無休)  
☎ 0995-58-2211 FAX 0995-58-3200  
〒899-5114 霧島市隼人町西光寺3525-1 (鹿児島空港内)  
メールアドレス: info@newj.co.jp ホームページ: http://www.newj.co.jp/

## 4 (有写真の光輝様より) デジタル一眼レフカメラを1名様にプレゼント



一瞬を一生の思い出に

一眼レフカメラをプレゼント☆

**光輝Photo House** TEL:0120(68)0331 0995(42)0331

## 6 国民宿舎えびの高原荘様より ペア宿泊券(1泊2食付)を2組様にプレゼント

**えびの高原荘は通常通り営業中**  
霧島錦江湾国立公園内にある1件宿。韓国岳を眺めながら浸かる源泉かけ流しの天然温泉は、日常の疲れを癒してくれます。



**国民宿舎えびの高原荘**  
宮崎県えびの市大字末永1489  
☎0984-33-0161

http://www.ebinokogenso.com 年中無休  
日帰り温泉も利用できます  
11:30～20:00(19:00最終受付)  
大人520円、小人300円、家族湯 別途室料1,030円/1h

屋外アイススケート場オープン 日本最南端

えびの高原スケート場  
☎0984-33-5946  
(9:00～17:00) 3/1まで

## 5 霧島ロイヤルホテル様より ペア宿泊券(1泊2食付)を2組様にプレゼント

美しい自然と味わい深いグルメの数々  
ゆったりと流れる時間に心をあずけながら  
とっておきのひとときをお楽しみください



**霧島ロイヤルホテル**  
TEL 0995-57-2111

30周年記念イベント  
清水良太郎のまねライブショー  
お1人様11,000円(税・サービス料込)  
(ショー・食事(バイキング)/ソフトドリンク付)

## 1 全日空様より 鹿児島～沖縄往復航空ペア券を1組様にプレゼント

ご搭乗期限 2015年3月5日(木)まで



3月28日(土)迄搭乗分まで発売中!

※旅割はANAの国内線割引運賃です。ご利用条件など詳細は、ホームページをご覧ください。※一部の期間・路線・便において設定のない場合がございます。販売席数には限りがあり、運賃ごとに発売期間が異なります。※運賃額は予告なしに変更となる場合がございます。  
くわしくは [www.ana.co.jp](http://www.ana.co.jp) まで。

## 2 フェリーさんふらわあ様より 志布志～大阪往復乗船ペア券を1組様にプレゼント 船中2泊(デラックスBルーム利用、食事別)、乗用車も一緒に乗船できます



**フェリーさんふらわあ**  
【プレゼント内容の問い合わせ先】  
フェリーさんふらわあ志布志支店  
☎ 099-473-8185  
受付時間/月～金 9:00～17:00

**さんふらわあで航く 関西宿泊プラン**  
フェリー往復乗船代金 + ホテル1泊朝食付き  
●船室ツリスト利用 ●大阪市内 ●ニューオリエンタルホテル(1泊朝食付きの場合) おとな 15,700円～19,500円

■出発日 2014年11月29日～3月31日出発まで  
※往路乗船日が1月1日～4日または、復路乗船日が12月26日～31日に該当する場合は設定除外

**広報きりしま200号記念特別キャンペーン(2015年1/7～3/31のご乗船)**  
期間中、霧島市在住の方がフェリーさんふらわあにご乗船いただくと、船内レストラン食事補助券(500円分・大人1名様につき1枚)を進呈。  
フェリー発券窓口にて乗船手続きの際、広報きりしま12月号(200号)をご提示ください

【旅行企画・実施】  
**さんふらわあトラベル大分支店**  
志布志☎099-473-0663 大分☎097-533-7002  
〒870-0003 大分市生石5-3-1  
●受付時間/9:45～17:30(月～金) ●定休日/土・日・祝日  
大阪府知事登録旅行業 第2-2396号 日本旅行業協会会員  
※掲載のツアーは、この広告でのお申し込みを受け付けておりません。資料(パンフレット)をご請求ください。

霧島市の広報誌「広報きりしま」は今月号で記念すべき200号を迎えました。洗練された写真・レイアウト・見出し、熱く訴えかける本文。平成18年5月にリ



ストリートピアノ発祥の地「鹿児島中央駅一番街商店街」で今年の1月19日に開かれた、鹿児島・宮崎ストリートピアノ10台常設達成記念イベント「ストリートピアノ・オーケストラ」

# まちを応“縁”する広報誌

◎大坪 徹

リニューアルした広報きりしまを手に取り、その質の高さに衝撃を受けたことを今も鮮明に覚えています。その後、市民目線の広報誌づくりを進めたいと協力を依

頼され、「微力ながら」と広報誌編集アドバイザーを引き受けました。毎月の編集会議では、各分野で活躍しているアドバイザーたちと共に原稿の表現や読みやすさ、分かりやすさなどをチェックして助言。特集記事では、いかに旬の話題や問題点を市民の皆さんと共有し、行動につなげられるかを議論してテーマを設定しています。この200号までに多くの特集が組まれましたが、その中で特に印象深かったのが平成22年7月号の特集です。同年4月に宮崎県で発生した口蹄疫の侵入の危機に対し、昼夜を問わず水際対策に取り組む現場の姿をリアルな写真と臨場感溢れる文章で捉えています。市民には防疫への協力と危機感を訴え、読者の中には、自分たちに何ができるのかを考えた方も多かったのではないのでしょうか。そして無事終息を迎えたときは、本当の意味でまちが一体になっ

たように感じました。これからは地域の将来を現場目線で見据え、課題を把握し、具体的な解決策を見出し、いかなければなりません。私はこれまで30年余り、地域づくり活動を続けてきました。その活動とは、地域にある「地域資源力」と「人間（人財）力」を発掘し、それらを問題解決やまちの発展のための行動につなげることです。地域資源力とは、霧島市の豊かな自然や荘厳な風格を持つ歴史・伝統・文化などのごとで、人間力とは各分野で日々研さんを重ね活躍している市民の力のことです。合併した霧島市には、これらの多くの力が眠っています。その力を発掘する大きな手助けになるのが広報きりしま。人気コーナー「人の風景」では魅力あふれる「人財」が紹介されています。さらに今、より広く、深く発掘する手段の一つが動き出すところとしています。それは「クロスメディア」。広報誌と南

九州ケーブルテレビネット、FMきりしまが手を取り合い、互いの特性、強みを生かそうとする取り組みです。このようにまちの動きや人々の縁を新たに生み出している「広報きりしま」。これからも市民を応「縁」し、身近でかけがえのない存在であり続けてほしい。そう願っています。



### Profile

おおつぼ とおる (60)

大坪茶舗三代目。「語らいの駅」大坪茶舗GALLERY。30年余り商店街や地域再生活動にライフワークとして取り組む。空港所在地の交流人口増加を目指す「LCC☆空港のあるまち成田会議」、おもてなしの地域づくりを目指す「まちの駅」、古くなったピアノをよみがえらせ商店街や地域の再生に活用する「ストリートピアノ」など。霧島市芸術文化フォーラム相談役。鹿児島まち自慢快発考会、ストリートピアノ in Japan 会長。満辺町麓在住。

## 200号への思いが強すぎてたくさん書いてしまいました

EDITOR'S

広報きりしまに創刊号から携わり、気付けば200号。締め切りに追われる毎日、あっという間に年を取りました。先日、20歳過ぎの方に取材を申し込んだら「お久しぶりです」と言われました。「誰だろう…」と知っている「小学生のときに撮影してもらいました。あの時の小学生が立派な大人に。200号の歴史を感じました。私にとって広報の歴史は、たくさんの人との出会いの歴史でもあります。皆さんの協力のおかげで広報きりしまを作ることができました。これからも出会いを大切に、皆さんが元気になれるような広報誌を作っていきます(美坂)

報には知らせるという意味があります。200号は「広報誌は必要か」という衝撃的な見出しでスタートしました。特集を企画して市民の皆さんにお伝えし、共に考え、そして行動につなげてもらうお手伝いも私たちの仕事です。広報担当になり8か月。不安や苦悩の連続ですが、明るく楽しいメンバーに囲まれて感謝の日々です。偶然にも記念すべき200号の編集に遭遇。プレゼントに協賛くださいました企業の皆さまには心から感謝申し上げます。今日は校了日。編集作業もいよいよ大詰め。あともう少しで校了の瞬間を迎えます。明日は飲むぞ(上小園)

霧島の腕章を着け、初取材に臨んだのは広報きりしま98号のとき。それからあっという間に200号。緊張のあまりうまくインタビューできなかったり、写真が「使えない」と一喝され何度も撮りなおしたり、取材中に胸を打たれて泣いてしまったり、原稿が書けずにもがいたり。失敗談は山のよう。それでも続けてこられたのは、取材に応じてくださった皆さんのおかげ。前向きで霧島市を愛する人ばかりでした。広報の立場でありながら、皆さんから霧島市の良さを教えていただいた気がします。200号は通過点。これからますます出会いに期待して(上野)

島 島んちゅぬ宝という歌がある。沖縄県出身のグループ「BIGIN」の代表曲の一つ。自分が生まれた島のことをどれだけ知っているかと自問する歌詞が印象的だ。広報誌づくりに携わりようになりこの歌が身に染み込んだ。霧島市に14年住むが、広報誌を作った2年でこのまちについて何も知らないことを思い知らされた。同時に、知ろうとした分だけ多くの魅力があることも知った。「島んちゅぬ宝(島の人の大切なもの)をもっと深く知りたい」と結ぶ歌。霧島市の大切なものは何なのか、「広報きりしま」でこれからも皆さんと一緒に探っていききたい(川床)

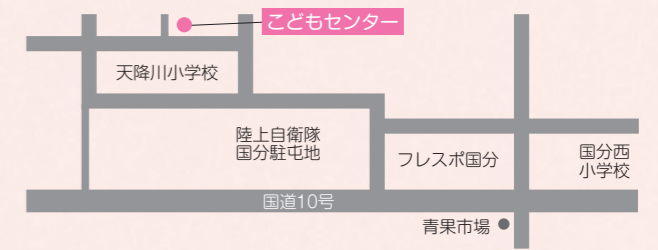


### 今回はチャイルドシートの貸し出しについてご紹介します。

霧島市では、子育て支援と児童の安全確保のため、チャイルドシートやジュニアシートを貸し出しています。お盆や年末年始などは利用者が多く、在庫が無い場合があります。返却期限が来た場合や使用する目的が済んだ場合は、次に利用を希望する方のために速やかに返却してください。

- 利用条件
  - ・霧島市内に居住していること。
  - ・普通自動車運転できる免許を持っていること。
- 利用料=無料。ただし、シートはクリーニング(代金は自己負担)してから返却してください。
- 貸し出し期間=原則3か月以内
- 申込方法=電話で在庫を確認の上、当日の午後5時までに各貸し出し場所の窓口へ直接申し込みください(予約はできません)。

- 手続きに必要なもの=車検証、運転免許証。
- 貸し出し場所=各総合支所市民福祉課



### 霧島市ホームページ

市ホームページまたは携帯サイトをご覧ください。ご利用の携帯電話や読み取りアプリによって表示される内容が異なります。

### 霧島市公式ツイッター

市の情報をタイムリーにお知らせします。

◎人口 / 127,592人 (+40)  
 男性 / 61,279人 (+16)  
 女性 / 66,313人 (+24)  
 出生111人 / 死亡102人  
 転入335人 / 転出286人

◎世帯数 / 59,461世帯 (+4)  
 (平成26年11月1日現在)

## 国分糸東会 団員募集

国分糸東会は、精神教育に重点を置き、空手道を通して円満な人格形成の向上を目指して練習に励んでいます。現在、団員は5歳児から小学生、中学生、そして大人まで約35人。

1か月の体験入団もできますので、興味のある方は、ぜひ見学や体験においでください。

### 【練習日時・場所】

- 水曜日 国分児童体育館 18:30 ~ 20:30
- 金曜日 国分武道館 18:30 ~ 20:30
- 日曜日 国分児童体育館 9:30 ~ 11:30

問=中吉 ☎ (45) 8436 今村 ☎ (46) 1178  
 kokubu.shitokai@gmail.com 国分糸東会



※若者掲示板でサークルや地域おこしグループの活動紹介や会員募集をしませんか。秘書広報課広報広聴グループ ☎ (64) 0955 までご連絡ください。

### 市長コラム 前田終止

祝・広報きりしま200号

今年の秋も多くの敬老会にご招待いただきました。その中で、健康寿命について特集した広報きりしま9月号を片手に「広報誌を読んでいますか」とお尋ねしたところ「毎号楽しみにしています」「絵はがきが楽しみで県外の親戚への便りに使っています」「特集記事が暮らしに役立ちます」などうれしい声が続きました。「広報きりしま」は霧島市の誕生とともに、市民の皆さまに親しまれ読まれる広報誌を目指して編集に工夫を重ねてまいりました。当初は霧島市の一体感をどのように創るのか。平成20年の総合計画策定後は霧島市の進むべき方向をどのように共有できるのか。そして市制施行10周年を来年に控え、さらなる共生・協働・共助によるまちづくりのため、何が必要か。これからの市民の皆さまの声を聴きながら、霧島市の「元気・可能性・絆の強さ」を共有できる広報誌を追及してまいります。そして何より、広報誌の発行や配布に関わる全ての皆さまに感謝いたします。